第三分科会

「コロナ禍におけるケアマネジメント業務の実際」

１．分科会目的

2020年から新型コロナウイルスの世界的流行の中で、感染拡大防止・緊急事態宣言の発令が繰り返される昨今、私たちの生活は様変わりしている。密や人との接触を避ける日常において、我々が従事するケアマネジャーの業務の中には、非対面では出来ない事が多くある。対象者に『会い』『話し』『感じ』『状態観察』を行い、課題を見いだし分析する中で支援に向けて取り組んでいる。

この１年半近くの機関の中で感染防止対策を講じながら日々の業務を遂行している実践内容や経験、また実際にコロナ感染したケースを担当した体験等をもとに共有し、今後の支援に活用できるよう、学びを深める。

２．分科会内容

・分科会に応募いただいた演題を元に、演題提出者から事例の概要や経過について発表いただきその事例について共有。

・各事例から、このコロナ禍で取り組んだマネジメントの実際や各関係者・関係機関との連携などを振り返り、分科会の座長・コーディネーター・演題提出者による公開ディスカッションを行い、事例を考察しコロナ禍におけるマネジメントの実際について、今後の課題などを見いだしていく。

また、事例や公開ディスカッションを通じ分科会へご参加下さる方々からも、質問やご意見等あれば対応し、双方に学びあえる分科会としていきたい。